

# 糸我小学校だより

令和4年5月30日



## 2年ぶりの授業参観と令和4年度育友会役員決定

4月21日(木)、22日(金)に授業参観・学級懇談会を実施しました。4月の授業参観は、2年ぶりの実施となります。コロナ感染拡大防止対策として保護者の方の数を分散するために、2日に分けて開催しました。

今年度初の参観日は、たくさんの保護者の方が来てくださり、子供たちの頑張りと学校の様子などを見ていただくことができました。子供たちも教室にいるお家の方を意識してかいつもより少し緊張しながらも張り切っているように感じました。学年はじめて、いよいよ軌道に乗ってこよかという頃の授業ですが、とても前向きに学ぶ姿が見られました。

また、育友会総会は一同に体育館に集まることになるので中止にしました。そのため、育友会役員は、書面決議により承認を得て、右上の方々に正式に決定いたしました。よろしくお願いたします。昨年度、ご尽力をいただいた役員・委員の皆様、選考委員の方々に、紙面からではございますが、お礼申し上げます。ありがとうございました。

### 令和4年度 育友会三役

会長	さん
副会長	さん
副会長	さん
会計	さん



## 「あいさつ」は言葉のキャッチボール

「おはようございます」と元気に児童玄関から入ってくる子供たち。毎朝かわすあいさつで心が温かくなります。

皆さんもこんな光景を見た経験はありませんか。社会見学や家族旅行などで、子供が車窓から手を振ったとき、歩いている人が、手を振ってくると「あ、手を振ってくれた」と喜ぶ子供の姿を…。相手から反応が返ってくることの喜びは、とても大きいようです。自分が投げたボールを受け取り、そして投げ返してくれる。このキャッチボールが、すごく嬉しいのです。

「挨拶」という漢字の意味は、「身をそばにすり寄せて押し合うこと」だそうです。形だけのあいさつでは、相手の心には届きにくいようです。手を振り返してくれたことを喜ぶ子供たちには、相手の笑顔も無関係ではありません。表情は、言葉よりも心に響くのです。

「おはよう」「おかえり」や「ありがとう」など、言葉と笑顔で子供たちの心に栄養をそそぎながら育てたいですね。

## 遠足に行ってきました

4月28日(木)に有田川の河川敷(ふるさとの川総合公園)に行ってきました。前日までの雨の影響が心配されましたが、グラウンドの状態も良く天候にも恵まれ気持ち良く行って来ることができました。

遠足は、「縦割り班」といって異学年(1~6年)混合の班を作って行きます。遠足に行くまでに、この縦割り班を使った活動を行います。メンバー紹介はもちろん遠足のコース説明をしたり目標を決める話し合いをしたりします。また、当日遠足に行く前に自分の班のメダル作りを行います。これらの活動はもちろん高学年の児童が中心となって進めて行くようにしています。こういった経験を重ねることで高学年としての気持ちと態度が育っていきます。下の写真は遠足前の縦割り班活動の様子です。



遠足に行った先では、自由行動の後、お弁当を食べ縦割り班で「転がしドッジボール大会」を行いました。児童会役員がルールやコート割り振りについて説明してくれました。



# 糸我小学校だより

令和4年5月30日



## 『田んぼの学校』の活動が始まりました!

### <初まき (お米の種まき)>

いよいよ今年度も「田んぼの学校」の活動が始まりました。毎年、糸我地区青少年育成会のみなさんのお力添えをいただいている活動です。

5月6日(金)に、5年生が、田植えの苗を育てるために種まきをしました。田んぼの学校の校長先生である山崎佳彦さんから指導を受け、子供たちは①～④の作業を行いました。

- ①種をまく ②まいた種の上に、土をかぶせる。
- ③の上で重みのある壺のようなものを転がし、かぶせた土と種をなじませる。(下左写真)
- ④鳥に種を食べられないように、あみをかぶせる。(下中写真)
- ⑤水分を保つために、わらをかぶせる。(下右写真)

子供たちがまいた種は、今、芽を出し順調に育っています。6月8日(水)に「苗取り」を翌日の9日(木)には全校児童で田植えを行う予定です。



### <アイガモの孵化>

稲はアイガモ農法で育てていきます。アイガモ農法の主役であるアイガモは、卵から孵<sup>かえ</sup>して田んぼに放鳥します。そこで、5月6日(金)に、アイガモの卵を学校に設置した孵卵器の中に、5年生の子供たちの手で入れ、温め始めました。卵には、「元気に生まれてね」等、子供たちの思いを書いてあります。子供たちは当番で孵卵器の温度や湿度を管理しています。

5月18日(水)は、検卵日でした。アイガモの卵が元気に育っているか点検します。部屋を暗くして卵に電球の光を当てると、殻が透けて中で心臓が動いているのが確認できました。子供たちは「すごい、動いている」等、喜びと感動を言葉にしていました。アイガモの卵の孵化予定日は、6月1日(水)頃だそうです。子供たちみんな、とても楽しみにしています。



## 『みかんの学習』でもお世話になっています!

3年生の「みかんの学習」では、毎年、<sup>山崎</sup>さん(有田市農業委員会会長)のみかん畑で体験学習をさせていただいています。5月10日(木)には、3年生が「摘蕾」を体験させていただきました。「摘蕾」とは、蕾のうちに花を摘み取って、開花する花数を減らす作業です。花数を調整することで、木の栄養の消耗を防ぎ、実る果実を大きく、おいしく育てることができるそうです。子供たちは<sup>山崎</sup>さんのお話を聞き、摘蕾作業に一生懸命取り組んでいました。学習の進み具合や天候のため少し時期が遅くなってしまい、<sup>山崎</sup>様にはご迷惑をおかけしましたが、大変貴重な体験をさせていただきました。これからも<sup>山崎</sup>さんに、おいしいみかんの作り方について教えていただきます。

また、3年生の子供たちにみかんの木の鉢植えを2鉢くださいました。学校の玄関前に置いて子供たちがお世話しています。学校にお越しの際は是非ご覧いただきたいと思います。



## 『集団下校訓練』実施

4月20日(水)に、集団下校訓練を行いました。集団下校訓練は、災害などの緊急時に、全児童が安全に帰宅できるとともに、災害に対する意識を高めることを目的に行っています。子供たちが帰宅する地区ごとに集まり、順に帰宅していきます。ここでも高学年の子供たちが低学年の子供たちに危険箇所や注意事項を教えてくれるなど活躍しています。

また、集団下校の途中にある「きしゅう君の家」も確認しながら帰って行きました。望まないことですが、登下校の途中で災害に遭うこともあります。そんなときも落ち着いて自分の身を自分で守れるようしっかりと訓練を重ねていきたいと思っています。



「きしゅう君の家」を確認しています